

1	指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
2	指定期間	令和3年 4月1日 ~ 令和8年 3月31日
3	業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関する事。 2 児童館の維持管理に関する事。 3 目的外使用許可にかかる事務に関する事。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関する事。 5 事業評価に関する事。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		・開館時間中(10:00～18:00)は、自由来館としている。 (コロナウイルス感染予防対策により13:00～14:00は消毒時間) ※新型コロナウイルス感染症対策として消毒時間(13:00～14:00)を設けているため13:00～14:00は児童センター利用をご遠慮いただいている。		-	
		(1)利用状況 (10点)	②利用人数				平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値		・コロナ禍3年目を迎え、前年度のようなコロナによる閉館等もなくなり、来館者数はほぼ倍増した。しかし、コロナ対策による制限等は残っており、まだコロナ前までの水準には至っていない。 【令和4年度】来館者数 3,186人 乳幼児 478人 小学生 1,689人 中高生 162人 大人 857人 【令和3年度】来館者数 1,651人 乳幼児 191人 小学生 949人 中高生 103人 大人 408人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。		8点
							※今回は指定管理2年目の評価のため、上記(2)を適用し、令和3年度の利用人数で令和4年度の利用人数を割ることで平均値比を求める。 平均値比(上記(2)適用) 193%≒利用人数(令和4年度 3,186人)÷(令和3年度 1,651人) 新型コロナウイルス対応一律8点(令和2・3年度と同様)				
(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計32回開催、延べ121名参加) ・児童を対象とした事業(計72回開催、延べ294名参加) ・地域交流事業・多世代間交流事業(計2回開催、延べ332名参加) ・中高生事業(計0回開催、延べ0名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計15回開催、延べ26名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 12点	・乳幼児クラブでは会員を増やす働きかけをし、0歳児会員を増やすことができた。 ・小学生クラブは、事業回数は増えたが、会員数が減少した。 ・地域交流事業では久しぶりに再開した地域のお祭りに移動児童館として参加し、多くの参加者があった。 ・中高生ボランティアは募集したが、当日の都合が合わず参加者が無かった。 ・子育て支援は、ファミリーコンサート等を行った。		12点			
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、 内容・事業数等が例年通り:11～9点、 内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、 内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、 内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計29回開催、延べ172名参加) ・児童を対象とした事業(計91回開催、延べ557名参加) ・地域交流事業・多世代間交流事業(計54回開催、延べ494名参加) ・中高生事業(計10回開催、延べ48名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計11回開催、延べ23名参加) ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 13点	・乳幼児事業は、前年度と同等の事業を行った。 ・小学生の館イベントで新規事業を企画し、参加者増加に繋がった。 ・地域交流事業の館イベントでは、新たに『ドミノに挑戦』や『大型バルーン』等を企画し実施し、参加者が増加した。 ・中高生事業では体力増進事業に任期があった。 ・子育て事業は、ままともクラブを実施し、1年を通じて活動できた。		13点			

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する(適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、 適正(普通):6点、 一部不備あり:4点、 不備あり:2点	・屋内・トイレの清掃:毎日、ガラスの清掃:随時、備品の清掃:毎日、照明器具の清掃:随時、館庭の清掃:週1～3回などの定期清掃、日常清掃を実施。 ・駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、細目に様子を見て清掃している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			・電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。 ・パソコンは随時点検。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			・非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			・室内事務室、玄関、1階廊下、男子トイレの蛍光灯の交換。 ・ウルトラレーナーコンセントプラグ等小さい部品の交換、修理を行い消耗品費で処理をした。 ・輪転機故障部品の交換や保守契約(29,700円) ・1階非常灯誘導灯経年劣化による故障の為取替え取付工事(49,500円) ・女子トイレ詰りによる点検作業(19,800円) 10万円未満であるので、仕様書の定めにより、指定管理者負担で修理を行った。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	10点
			②環境への配慮			・節電・節水に努める 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定、夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットを敷く、など季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・廃材や消耗品の再利用 紙はリサイクル紙を利用、関係機関へ連絡はメールを利用。 空き箱やペットボトル、ロールの芯などの廃材を使って工作を行っている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			・廊下の床に、来館者の荷物を置いて動線をふさがないように、棚を荷物置き場にしている。 ・卓球台の転倒防止の為ベルトで固定している。 ・郵便受けやテーブルのかどにクッションを取り付けている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			・備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			・労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団として『個人情報保護規定』を作成している。 ・情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0		事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	ワーカーズコープとして、保険に加入している。	0点
3	当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支			施設の特性から評価対象外の項目	収入 11,432,035円 ÷ 支出10,678,498円 ≒ 107% 収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するのではないため、評価対象外とする。(令和3年度から)			

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
4	より良い施設運営のための取組(35点)	(1)市民・利用者の声の反映(20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・窓口に意見箱を設置するとともに、クラブ終了時や、行事開催後などにアンケートを実施し、積極的に感想や意見を聞く場を設けた。又掴んだニーズや意見を職員間で共有し合い事業や運営に反映させた。 ・乳幼児クラブでは要望の多かった身体を動かして遊ぶアスレチック遊びやごっこ遊びなどを取り入れた。 ・身体全身を使って遊びたいという子ども達の要望を取り入れ、大型バールの遊びを考えたり、土日にも参加のできるトランポリン＆ウルトラトレーナーや活動的な企画を実施した。	期待以上 13点	・クラブにおいてアンケート結果を、次期に反映させて対応している。	13点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	期待以上・ 苦情なし 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・利用状況や事業の参加者を見直し、工作コーナーやワードラリー等のコーナーを新たに設けたり、参加者の少ない事業では実施の曜日の変更や内容の見直し工夫を行った結果来館者数が増えた。 ・労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団では、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 毎月「全国子育てWEBミーティング」・5月14日11月19日「全国子ども子育てケアプロジェクト会議」・9月10日～11日「全国子育てフォーラム」(オンライン)・11月5日「実践交流集会」子育ての中で体験する事の重要性を実践報告と共に学習した。・年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。(オンライン)・法人内児童館職員研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。 ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県】9/2 木育フォローアップ研修 10/25.2/25ぎふ木育サポーター研修 飛騨五木株式会社【主催:岐阜県児童館連絡協議会】9/6館長研修会[安全指導・安全管理]岐阜県児童館連絡協議会副会長 古田稔幸先生「館長交流会」～コロナ禍における児童館での工夫～・10/28東濃地域児童館職員等研修会「地域福祉活動」愛知文教女子短期大学幼児教育学科 祢宜佐統美先生「虐待講話」岐阜県東濃子ども相談センター 武井勇美子先生「ゲーム運動あそび(科学あそび)」サイエンスワールド 細江理恵子先生・11/8東濃ブロック研修会「表現活動(身体表現)」スタジオf日本こどもフィットネス協会 荻野房子先生	期待以上 14点	・地域行事や会議への職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・職員が手作りした多数のボードゲームが子ども達の来館目的の一つとなり、運営努力を行っている。 ・小学校でのおたより配布時の放送紹介等を積極的に行い児童センターの認知度が上がっている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努めた。	14点
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・コロナ禍3年目となり、前年度の工夫を継続して取り組み、来館者が増加した。 ・職員手作りのボードゲームで児童の来館者数につながっている。	極めて良好 85点